



注意書き

- 予防策: 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 換気が十分でない場合には、吸入用保護具を着用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対 応: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
 下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。  
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
 火災に応じた消火剤を使用する。  
 漏出物を回収すること。
- 保 管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃 棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
ポルトランドセメント	登録済み	65997-15-1	55-65	該当しない	該当しない
高炉スラグ微粉末	登録済み	65996-69-2	35-45	該当しない	該当しない

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。  
 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。  
 コンタクトレンズを着用している場合は外して洗眼すること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。  
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。多量の清浄な水と石鹸で洗うこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。  
 皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、直ちに医師の診断を受ける。  
 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

- 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄する。  
直ちに医師の処置を受ける。  
無理に吐かせてはならない。  
被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
- 曝露した場合： 気分が悪いときは、医師の診断・手当てを受けること。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： 情報なし。  
使ってはならない消火剤： 情報なし。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 作業の際には必ず保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等の保護具を着用すること。  
関係者以外の立ち入りを禁止すること。  
風上に留まること。低地から離れること。
- 環境に対する注意事項： 粉じんが飛散しないようにする。  
河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 回収・中和： 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材： 漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。
- 二次災害の防止策： やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い：

- 技術的対策： 取扱いは、換気の良い場所で行う。作業場の換気を十分行う。  
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。  
飛散した粉じんを吸い込まないようにする。  
屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。  
取り扱いの場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
眼、皮膚、衣類には付けないこと。  
休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。  
休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではならない。  
指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。  
長時間あるいは繰り返し皮膚等への接触を避ける。そのため、保護具(保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等)を着用する。  
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 局所排気・全体換気： 取扱う場合は、出来るだけ局所排気内または全体換気の設備を設置して取扱う。
- 安全な取扱い注意事項： 使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
みだりに粉じんが発生しないように取扱う。  
取扱い後は、顔、手、口等をきれいに洗う。また、衣服が汚れた場合には洗ってから着用する。  
袋の場合、破袋などにつながるような粗暴な取扱いをしない。  
フレコン等で吊り上げて移動する場合、その下部になる所へは絶対身をおかない。
- 接触回避： アルカリ性なので、酸性(塩酸、硫酸、硝酸等)の製品との接触を避ける。

保管 :

技術的対策: 変質を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて常温で保管する。  
 保管条件: 施錠して保管すること。  
 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。  
 混触禁止物質: 水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。  
 容器包装材料: 防湿のため密閉可能な袋または容器。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内等通気の悪い場所では、換気及び局所集じんを行う。  
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度: 労働安全衛生法・作業環境評価基準 2.9 mg/m<sup>3</sup>  
 (普通ポルトランドセメントは 2.0 mg/m<sup>3</sup>)  
 許容濃度: 日本産業衛生学会(2005 年度版) 第2種粉じん 1 mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉じん)  
 4 mg/m<sup>3</sup> (総粉じん)  
 ACGIH(2005 年版)  
 ポルトランドセメント TLV-TWA 10 mg/m<sup>3</sup>  
 不特定粒子 TLV-TWA 3 mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉じん)  
 TLV-TWA 10 mg/m<sup>3</sup> (総粉じん)

保護具

呼吸器の保護具: 防じんマスク、簡易防じんマスク  
 手の保護具: ゴム製保護手袋  
 (ラテックスアレルギーの方は天然ゴム製の手袋を使用しないで下さい)  
 眼の保護具: 保護眼鏡(密閉型ゴーグル)  
 皮膚及び身体の保護具: 保護衣(長袖)、保護長靴(ゴム長靴)

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等: 粉体状  
 色: 灰白色  
 臭い: 無臭  
 pH: 水に接触すると9~13  
 融点・凝固点: データなし  
 沸点、初留点及び沸騰範囲: データなし  
 引火点: データなし  
 燃焼または爆発範囲: 不燃性  
 蒸気圧: データなし  
 蒸気密度: データなし  
 比重: 1.7  
 溶解性: 水に難溶性  
 オクタノール／水分配係数: データなし  
 自然発火温度: データなし  
 分解温度: データなし  
 その他情報: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常取り扱い条件下では安定である。  
 反応性: 水と反応して固化する。  
 避けるべき条件: 吸湿するため湿度の高い環境に長時間置かない。  
 混触危険物質: データなし。  
 危険有害な分解性生物: 生成しない。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口:	区分外	
		成分情報:	ポルトランドセメント、高炉スラグ微粉末[区分外]
	経皮:	分類できない	
	吸入:	分類できない	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
		成分情報:	ポルトランドセメント、高炉スラグ微粉末[区分1C]
		成分情報:	高炉スラグ微粉末[区分1]
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:		区分1	重篤な眼の損傷
		成分情報:	ポルトランドセメント、高炉スラグ微粉末[区分1]
		成分情報:	高炉スラグ微粉末[区分1]
呼吸器感作性:		区分1	吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
		成分情報:	ポルトランドセメント、高炉スラグ微粉末[区分1]
皮膚感作性:		区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
		成分情報:	ポルトランドセメント、高炉スラグ微粉末[区分1]
生殖細胞変異原性:		分類できない	
発がん性:		分類できない	
生殖毒性:		分類できない	
特定標的臓器毒性(単回暴露):		分類できない	
特定標的臓器毒性(反復暴露):		分類できない	
吸引性呼吸器有害性:		分類できない	

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	分類できない
水生環境慢性有害性:	分類できない
生態毒性:	
魚毒性:	現在のところ知見なし
残留性/分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし

## 13. 廃棄上の注意

内容物/容器を都道府県知事の規則に従って廃棄すること。  
 製品(粉体)の廃棄は、廃棄物の処理および清掃に関する法律の汚泥の処理基準に基づき廃棄する。  
 硬化体の場合は、廃棄物の処理および清掃に関する法律の処理基準に基づき廃棄する。洗浄水の排水は、水質汚濁防止法に基づき処理を行う。  
 外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を依頼する。  
 容器の廃棄は残余廃棄物と同様、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する

## 14. 輸送上の注意

### 注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
 湿気、水漏れに注意する。

### 国内規制

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。  
 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。  
 国連分類： 該当しない  
 国連番号： 該当しない  
 指針番号： 該当しない

15. 適用法令

消防法：	該当しない
毒物及び劇物取締法：	該当しない
労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)：	該当しない
施行令第18条 名称を表示すべき有害物：	該当しない
有機溶剤中毒予防規則：	該当しない
化学物質管理促進法：	該当しない
化審法：	該当しない
労働安全衛生法(粉じん障害防止規則)：	該当する

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したのですが、必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。  
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。  
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS) :JIS Z 7253:2012)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料／製品メーカーSDS

作成日：2014年 8月 29日

改訂日：2016年 7月 1日

## 安 全 デ ー タ シ ー ト

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称：ショーボンド クラックコート(ブラック)  
 会社名：ショーボンドマテリアル株式会社  
 住所：埼玉県川越市芳野台2-8-10  
 担当部門：品質保証課  
 電話番号：049(225)5611 F A X：049(225)5616  
 緊急連絡先：品質保証課 電話番号：049(225)5611  
 整理番号：クラックコート(ブラック)-00

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性:		情報なし
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	情報なし
	急性毒性(経皮)	情報なし
	急性毒性(吸入:蒸気)	情報なし
	皮膚腐食性/刺激性	情報なし
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし
	呼吸器感作性	情報なし
	皮膚感作性	情報なし
	生殖細胞変異原性	情報なし
	発がん性	情報なし
	生殖毒性	情報なし
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	情報なし
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	情報なし
	吸引性呼吸器有害性	情報なし
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	情報なし
	水生環境慢性有害性	情報なし

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル： 情報なし。

注意喚起語： 注意喚起語なし。

危険有害性情報： 重大な作用や危険有害性は知られていない。

(分類されていない他の危険有害性)

当物質の取り扱いや加工により、眼、皮膚、鼻及びのどへの物理的刺激の原因となる可能性のある粉塵が発生することがある。

注意書き

- 予防策: 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 換気が十分でない場合には、吸入用保護具を着用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対 応: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
 下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。  
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
 火災に応じた消火剤を使用する。  
 漏出物を回収すること。
- 保 管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃 棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
酸化鉄 (四三酸化鉄)	(1)-357	1317-61-9	90~100	該当しない	政令番号192
マンガン	該当せず	7439-96-5	2.0	第1種No. 412	政令番号550

4. 応急措置

- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合: 水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。  
 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 石鹸と水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。  
 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合: すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。  
 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。  
 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 応急措置をする者の保護 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別注意事項:

症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤: 認知済みのものは無し。
- 特有の危険有害性: 特定の火災爆発の危険有害性はない。
- 有害な熱分解生成物: 分解生成物には以下の物質が含まれることがある(金属酸化物)
- 消火を行う者に対する注意: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火を行う者の保護: 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで作動するフルフェース自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。粉塵の吸入を避ける。適切な個人保護具を使用すること。
- 環境に対する注意事項: 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材:
- 少量流出: 漏出区域から容器を移動する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量流出: 漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。粉塵状態になるのを避け、風による散乱を防止する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 安全な取扱い注意事項: 適切な個人保護具を使用すること。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所で飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。粉塵の吸入を避ける。
- 安全に保管するための注意事項: 現地法に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。一旦開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(職業暴露限界)

- 暴露限界値: 酸化鉄(四三酸化鉄)  
JP JSOH I-1 OEL (日本、5/2009)  
OEL-M: 1 mg/m<sup>3</sup> 8 時間 形状: Respirable dust  
OEL-M: 4 mg/m<sup>3</sup> 8 時間 形状: Total dust

推奨される測定方法:	当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。
適切な技術的管理:	換気が十分な場所でのみ使用する。ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。
環境暴露管理:	換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げするために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。
<b>個人の保護措置</b>	
衛生措置:	化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。
呼吸器の保護具:	リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。
手の保護具:	リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
目の保護具:	リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。作業条件により高濃度の粉塵が発生する場合は、粉塵用ゴーグルを着用する。推奨：側方シールド付の保護眼鏡 可能な場合：側方シールド付の保護眼鏡
皮膚の保護:	作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。 可能な場合：特別措置の必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等:	固体粉末
色 :	黒
臭い:	無臭
pH:	4 - 8 [濃度 (% w/w): 5%]
融点:	1597° C (2906.6° F)
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
燃焼または爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重:	5.17
溶解性:	データなし
オクタノール／水分係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
その他情報:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の手取り扱い条件下では安定である。
------	---------------------

反応性: 通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。  
 避けるべき条件: データなし。  
 混触危険物質: データなし。  
 危険有害な分解性生物: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

最も重要な健康への影響  
 起こりうる急性毒性

吸入: 制定法上の、あるいは勧告されている暴露限界を超えた濃度の空気浮遊物質に曝露すると、鼻、のど及び肺に炎症を引き起こす原因となることがある。  
 目に入った場合: 制定法上の、あるいは勧告されている暴露限界を超えた濃度の空気浮遊物質へ曝露すると、目に炎症を引き起こす原因となることがある。

健康への慢性効果の可能性

吸入: 粉塵を繰り返しあるいは長期間吸入すると、慢性の呼吸器炎を引き起こすことがある。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

吸入: 有害症状には以下の症状が含まれる  
 気道の刺激  
 咳  
 目に入った場合: 有害症状には以下の症状が含まれる  
 刺激  
 発赤

急性毒性

酸化鉄(四三酸化鉄) LD50 経口: ラット 投与量>5000 mg/kg  
 LD50 経口: ラット 投与量<10000 mg/kg  
 結論/要約 皮膚: 刺激性なし \*類似構造物の試験結果  
 眼: 刺激性なし \*類似構造物の試験結果

12. 環境影響情報

生態毒性: 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
 土壤中の移動性:  
 土壌/水分配係数(KOC) データなし  
 移動性 データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
 湿気、水漏れに注意する。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。  
 海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
 航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。  
 国連分類： 情報なし  
 国連番号： 情報なし  
 指針番号： 情報なし

15. 適用法令

消防法：	該当しない
毒物及び劇物取締法：	該当しない
労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)：	酸化鉄(政令番号192) マンガン及びその無機化合物(政令番号550)
施行令第18条 名称を表示すべき有害物：	該当しない
有機溶剤中毒予防規則：	該当しない
化学物質管理促進法： マンガン及びその化合物	第1種指定化学物質(政令番号412)
化審法：	該当しない
特定化学物質： マンガン及びその無機化合物	特定化学物質等障害予防規則(第二類物質)

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。  
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。  
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS):JIS Z 7253:2012)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料/製品メーカーSDS